

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

## 4月1日更新

伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第35次）

大量に姿を見せていた瓦（土嚢袋に約70袋）を取上げた後、3月8日に小形重機を使って埋め戻しを行い、3月9日に機材を撤収して発掘調査は終了しました。

磐城山遺跡（第9次）

木田町

3月いっぱい調査を行い調査を終えました。



新しく見つかった竪穴住居。



2月から調査を行った範囲の全景。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**3月1日更新**

## 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第35次） 広瀬町

6A1F-A区の調査をほぼ終わりました。建物の南側の外周溝と、それを掘りなおした新しい溝が確認できました。新しい溝の上層では大量の瓦が重なり合うような状態で出土しました。瓦は形を保ったものも多く、平瓦を重ねたものや平瓦の上に丸瓦をひっくり返して載せた状態がみられます。まとめて重ねて運ばれ、そのまま捨てて埋め込まれたようです。建物のすぐ南側には東西の区画溝があり、そこからも瓦が出土しました。



建物の外周溝と捨てられた瓦



瓦の重なりあい

## 磐城山遺跡（第9次） 木田町

調査を再開しました。弥生時代後期の県内最大級の竪穴住居（東西11m×南北9.2m）の壁溝や柱穴もきれいに掘り上がりました。出土遺物は博物館の速報展で展示しています。



柱をすえた穴の大きいこと。



普通の竪穴住居で一辺5mぐらい。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**2月1日更新**

## 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第35次） 広瀬町

位置情報URL:<https://maps.gsi.go.jp/#16/34.885315/136.500041/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j010u0f1>

調査の種類：学術調査

調査原因：国府跡範囲確認

調査期間：平成29年1月13日～平成28年3月9日（予定）

調査面積：300㎡

主な遺構：溝・土坑

主な遺物：丸瓦・平瓦

見 頃：3月上旬まで

現地説明会：未定です。

昨年度の調査で、国府政庁北方の方格地割の東辺溝がこれまでの想定から南に延びていることが判明しました。そのため今回の調査では、まずその延長上に6AIF-F区を設定して遺構検出を行いました。結果としてやはり溝が続いていることが確認できました。また6AIF-F区の西側は平成4年の第1次調査によって瓦葺きの建物の存在が推定されていたので、再確認の意味で前回の調査区の南側に6AIF-A区を設けて調査を行いました。現在も検出作業を続けていますが、建物の外周溝らしきものとそれを覆うような瓦を含んだ整地層が東西に伸びています。



6AIF-F区 地割の南北溝（黒い部分）



6AIF-A区 瓦を含む整地層

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**12月1日更新**

磐城山遺跡（第9次）  
木田町

遺構実測とレベル入れを終えて、いったん現場はお休みとなりました。2月から調査再開の予定です。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**11月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第6次） 十宮四丁目

ようやく調査が終了しました。確認された井戸は26基以上はあります。第1次調査で大量の土器を出土した環濠SD01の続きも見つかりましたが、上層が過去の耕作や校庭の造成でかなり失われているためか、出土遺物は少なめでした。



環濠SD01の続き（北から）



完了時の状況（調査区中央部：南から）

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

遺構実測と高さ入れが延々続いています。周期的に雨が降り、この現場は台地上なのに水はけが悪いのでなかなか作業が進みません。竪穴住居に伴う排水溝がやたら多いのもうなずけます。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**11月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第6次） 十宮四丁目

調査も終盤となってきましたが、相変わらず中世から近世にかけての井戸ばかり掘っています。高台でもなく、すぐ近くには川も流れているのですが、安定した水の確保を重視していたことがうかがえます。地山とその下の礫層だけでなく、さらに下層の黄白色のシルト層をも掘り抜いている井戸がいくつもみられます。より良い水の確保を求めたのでしょう。



井戸を掘っています



黄白色のシルト層を掘り抜いている様子がよく分かります

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

北東区の発掘作業がひと段落し、遺構実測に移りました。



県内最大級の竪穴住居（西半分のみ）



発掘現場の風景

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**10月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第6次） 十宮四丁目

遺構の掘削作業が予想より早く進んでいます。検出される遺構は中世から近世にかけての井戸と土坑（ごみ穴）です。第1次調査で発見された遺跡を南北に横切る弥生時代末から古墳時代初頭の大溝もようやく姿を現しはじめました。



作業風景



大きな土坑を掘削しています

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

北東区の調査が進んでいます。みつかった古代の掘立柱建物の倉庫の柱穴では柱を巻くように石をつめてあるのが特徴的です。また、弥生時代後期の県内最大級の竪穴住居からはまとまって遺物が出土しています。シルバー人材センター主催の研修や中学校の職場体験などで現場にもぎわいました。



白鳥中学校生の体験発掘



柱穴に石が詰まった掘立柱建物

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**9月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第6次） 十宮四丁目

遺構の掘削作業が進み始めました。昨年度の調査区よりは古墳時代の遺構・遺物も若干増えてきているような印象がありますが、まずは大多数をしめる中世から近世初頭にかけての井戸や土坑を掘り進めます。



遺構掘削風景



井戸を掘っています

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

中央北区の調査が終了し、調査は北東区へと進んでいます。中央北区では初めて弥生時代中期の円形竪穴住居が見つかりました。



弥生時代中期竪穴住居



重なり合う竪穴住居

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**8月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第6次） 十宮四丁目

旧神戸中学校跡地です。  
位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.887215,136.578853&z=16&base=std&vs=c1j010u0>  
調査の種類：緊急発掘調査  
調査原因：宅地造成工事  
調査期間：平成28年7月14日～平成28年12月2日（予定）  
調査面積：約1,900㎡  
主な遺構：まだです  
主な遺物：土師器・須恵器  
見頃：まだまだです  
現地説明会：未定です

旧神戸中学校の跡地です。グラウンド跡地の北半部を民間に売却し宅地造成することに先立ち発掘調査を実施するもので、今年度が2年目となります。7月中旬から表土除去作業に取り掛かりました。



調査前の風景



重機による表土除去作業

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

中央北区の調査が続いています。夏休みに入って7月21日に神戸中学校郷土史クラブの皆さんが体験発掘に参加されたほか、7月30日には一般応募の磐城山遺跡発掘体験会が開催されるなど、現場は何時にもない賑わいとなっています。



竪穴住居SH0960



竪穴住居隅の土器集積



遺物取り上げ



神戸中学校郷土史クラブ



発掘体験会の様子

一般収蔵庫（過去のニュース）  
特別収蔵庫（現地説明会資料）  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

7月1日更新

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

北西区画の調査が完了し、中央北区画へと調査が進んでいます。中央北区では中世の道路側溝群をまず調査し、さらに掘削を進めています。新たに、中世の土壇墓とみられる礫がいっぱい詰まった土坑が見つかりました。



北西区全景



中世井戸



土壇墓？



中世の道路側溝

## 岡田南遺跡（第3次） 鈴鹿市岡田三丁目

調査は終了しました。検出された遺構には、まず弥生時代中期後半の方形周溝墓2基があります。検出時に土器棺墓あるいは埋甕と考えていた遺構は縄文時代中期末ころの底に土器を敷き詰めた土坑（熱を受けていないので炉ではないようです）でした。その他、縄文時代晩期のピットなどがあります。



調査区全景



土器敷き土坑



方形周溝墓1



方形周溝墓2

一般収蔵庫（過去のニュース）  
特別収蔵庫（現地説明会資料）  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

6月1日更新

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

遺構の掘り下げが徐々に進んでいます。8次調査区から続く弥生土器のぎっしり詰まった排水溝2条がようやく掘り上がりました。竪穴住居の主柱を抜き取った穴に小さな壺を2個縦に入れてある不思議な遺構も見つかりました。

また、時期はまだはっきりしていませんが井戸と思われる深さが1.5m以上もある円形の穴も掘り下げ中です。



土器の詰まった排水溝



柱の穴に納められた壺

## 岡田南遺跡（第3次） 鈴鹿市岡田三丁目

牧田小学校前の交差点を東に100m

位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?z=15&base=std&vs=c1&ll=34.881280,136.549941#17/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j010u0f0>

調査の種類：緊急発掘調査

調査原因：分譲住宅建築

調査期間：平成28年5月30日～平成28年6月30日（予定）

調査面積：約50㎡

主な遺構：方形周溝墓ほか

主な遺物：弥生土器

見頃：6月中旬

現地説明会：開催しません。

調査は始まったばかりです。範囲確認調査の際に黒色土の落ち込みの中に石組みが見られ、その周辺から土器が出土したため、竪穴住居とその炉跡ではないかと考えて調査に取り掛かりましたが、表土除去を行ったところ方形周溝墓らしいことが分かりました。また、土器棺墓らしき土坑も1基見つかりました。



表土除去作業



方形周溝墓のようです

一般収蔵庫（過去のニュース）  
特別収蔵庫（現地説明会資料）  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

5月1日更新

## 塚腰遺跡（第3次） 鈴鹿市郡山町字広山

伊勢鉄道中瀬古駅前の道路を北に400mから

位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?z=15&base=std&vs=c1&ll=34.815979,136.541734#17/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0l0u0f0>

調査の種類：緊急発掘調査

調査原因：作業所建設

調査期間：平成28年4月5日～平成28年4月30日

調査面積：75㎡

主な遺構：竪穴住居・土坑・溝

主な遺物：須恵器・土師器・山茶碗・常滑焼

見頃：終了しました

現地説明会：開催しません。

5世紀代に築かれた帆立貝式前方後円墳「経塚古墳」の北西100mに位置します。建物の基礎で破壊される範囲のみの四角く巡るトレンチ状に調査を行いました。検出された遺構は古墳時代のもと思われる竪穴住居が3棟ですが、いずれも一部分のみの検出です。また、鎌倉時代の総柱建物1棟とそれに伴う南東隅土坑を検出しました。建物の桁行は6間とみられ、規模の大きな建物です。南東隅土坑からは多量の礫に混じり常滑甕や山茶碗が出土しました。



鎌倉時代の建物に伴う南東隅土坑



鎌倉時代の総柱建物の柱列

## 磐城山遺跡（第9次） 鈴鹿市木田町字西条

遺跡への経路：市街から四日市鈴鹿環状線の木田橋を渡って坂を上った信号三叉路「木田町」の左手の丘陵上。

位置情報URL：<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?lat=34.901599&lon=136.571574&z=15&did=std&crs=1>

調査の種類：本調査

調査原因：農地改良に伴う緊急調査

調査期間：平成28年4月11日～平成29年3月31日（予定）

調査面積：850㎡

主な遺構：竪穴住居・掘立柱建物・溝・井戸・土坑墓

主な遺物：弥生土器・土師器・須恵器・山茶碗・白磁

見頃：夏以降

現地説明会：夏休みに発掘体験会を開催する予定です。

今年も始まりました。あいかわらず古墳時代前期・後期の竪穴住居、弥生時代後期の竪穴住居が重複して多数が姿を現しつつあります。ただいま、弥生土器のぎっしり詰まった排水溝をいくつか掘削中です。また、中世の土坑墓らしき遺構からは礫に混じって山茶碗や白磁碗が出土しました。



遺構検出状況(奥は8-2次調査区)



中世の土坑墓か

一般収蔵庫（過去のニュース）

特別収蔵庫（現地説明会資料）

ホームページに戻る